

平成20年6月6日
日本原燃株式会社

「品質保証に係る顧問会」(第9回)議事録(要旨)

1. 日 時 : 平成20年5月23日(金) 14:00～17:00
2. 場 所 : 日本原燃(株) 東京事務所(物産ビル別館6階) 第一会議室
3. 出席者
 - (1)顧 問
 - (主 査) : 宮村 中央大学教授 (代行)
 - (委 員) : 猪原 大阪電気通信大学教授
今井 住友化学(株) レスポンシブル ケア室 品質保証チームリーダー
小林 (財)日本航空協会 常務理事 航空スポーツ室長
新堀 東北大学准教授 (五十音順)
 - (2)日本原燃
 - (同席者) : 兒島社長, 峰松副社長, 池田燃料製造事業準備室長,
大和濃縮事業部長, 野口埋設事業部長, 村上企画部長,
桑原品質保証室長, 村上品質保証室・担任,
青柳再処理事業部技術部長, 津田再処理計画部副部長,
濱田運転部長, 朝日再処理事業部品質管理部長,
新沢品質保証室品質保証部長, 奥本品質保証室部長
 - (事務局) : 高瀬品質保証室課長, 秋戸品質保証室主任
4. 議事要旨
 - (1)開会挨拶
日本原燃より, 開会挨拶を行った。
 - (2)副社長挨拶
顧問会の開催にあたり, 日本原燃の近況を含め挨拶を行った。
 - (3)第8回顧問会の議事録確認他
日本原燃より, 第8回顧問会での評価・アドバイスに対する対応方針の概要について説明を行った。
 - (4)品質保証活動の実績
日本原燃より, 日本原燃が実施した平成19、20年度の主な品質保証活動の実績について説明を行った。
 - (5)アクティブ試験の実施状況
日本原燃より, 再処理工場のアクティブ試験第4ステップの結果及び今後の予定について説明を行った。

(6)再処理施設操業に向けての生産段階における品質保証体制の見直しについて
日本原燃より、再処理施設操業に向けての生産段階における品質保証体制の見直しについて説明を行った。

(7)安全文化醸成への取組み
日本原燃より、安全文化醸成への取り組みについて説明を行った。

(8)社長挨拶
日本原燃 児島社長から閉会に際しての挨拶を行った。

5. 主なアドバイス他

(1)アクティブ試験の実施状況

アクティブ試験第4ステップ期間中の環境への放出放射エネルギーに関して、計算値と実測データとの関係について質疑を行った。

(2)再処理施設操業に向けての生産段階における品質保証体制の見直しについて
施設の操業に向けた品質管理及び品質保証活動の取り組みに対して以下のアドバイスを頂いた。

- 製品の受注から納入に至るまでの全体のプロセスと体制(Configuration)を見える化し、組織の中に浸透させることによって、しっかりした Configuration management を実施することが大切である。

(3)安全文化醸成への取組み

安全文化醸成活動の取り組みについて、以下のアドバイスを頂いた。

- 現場でのトラブル未然防止活動に対し、積極的な評価を与える仕組みを考えることが重要である。
- 小集団活動は、どのようにして全員を巻き込んで推進していくかということが大切である。
- 危険予知、未然防止は極めて重要。それらの教育に際しては、上から下への一方的なものではなく、各人にテーマを与え、資料をまとめさせ、考えさせる等の方法が有効である。
- 経営側の思いを社員に理解してもらうには、“単純に簡単に”、かつ、“現場も理解し易い平易な言葉”で A4 サイズ 1 枚とかカード 1 枚の短いものにするのがよい。

以上